富山県の人口の社会減対策としての

同窓会の活性化事業

同窓会ホームページ作成事業
同窓会開催補助事業

久保田　瞳

現在の問題点①

富山県における人口流出が止まらない

卒業生が進学や就職で県外に出て行った場合でも、
実家が残っている

年老いた両親＝
老々介護

ついに、実家は空き家の予備軍
住んでいる人たちがいなくなると空き家になってしまう

治安の悪化

景観の悪化

周辺住民の不安

現在の問題点②

富山県には帰省以外では来県する目的がない
Uターンするきっかけがない

富山に住んでいる知人と話をする機会も少ない
Uターンを決意するきっかけがない

都会の生活での生活に忙殺され、富山と疎遠になる

問題解決には
Uターン対象者促進による
県内人口増が必要不可欠！

○「本県の空家数の推移」（住宅土地統計調査　富山県）

本県の空き家数の推移

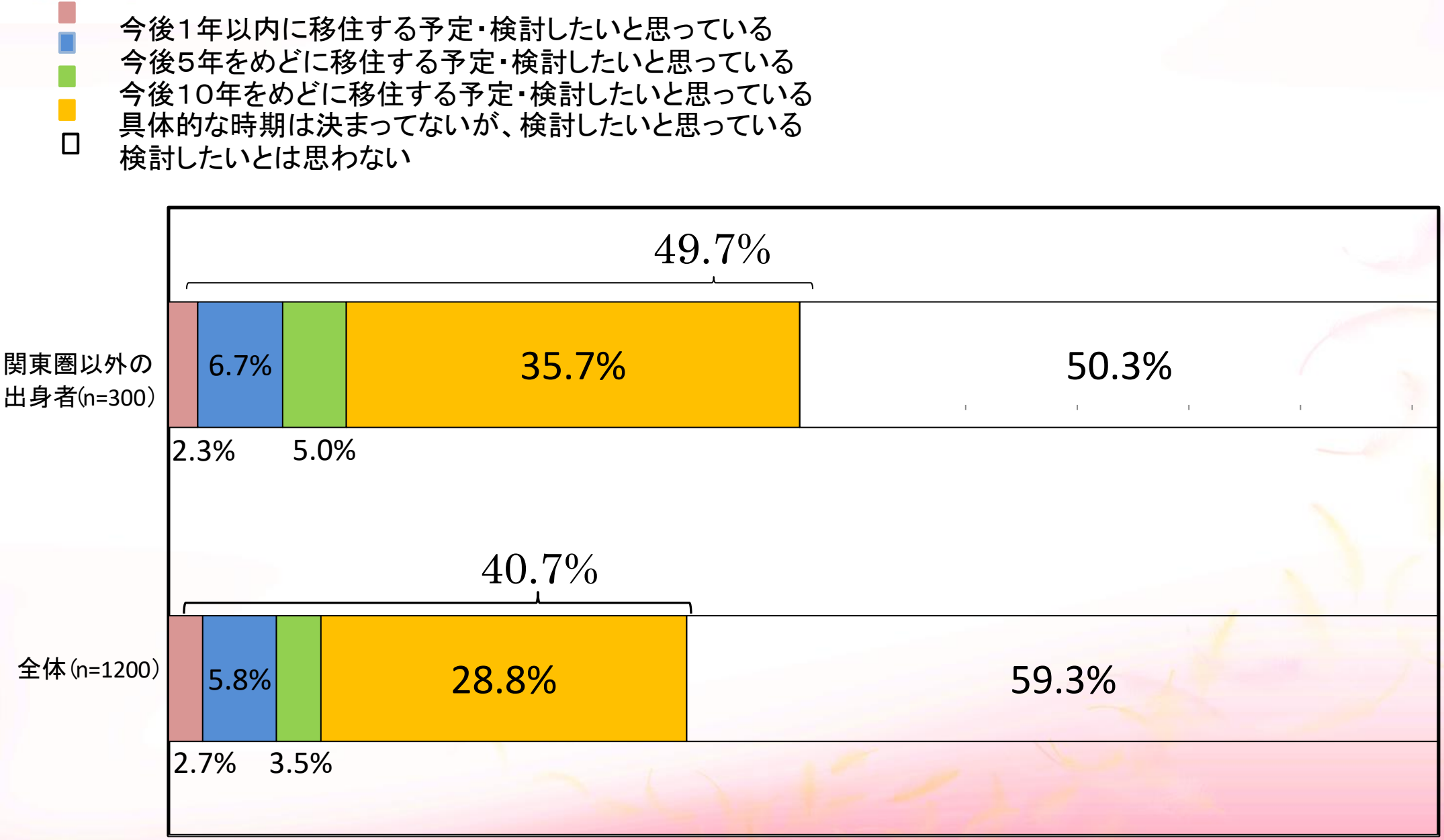
年度	空き家分類別(戸)			
	二次的住宅	賃貸用又は売却用住宅	その他住宅	空き家総数
S58	1,100	9,500	9,500	20,000
S63	1,200	10,000	11,500	22,600
H5	1,400	12		27,000
H10	2,200	17		37,100
H15	2,900	23,000	21,400	47,300
H20	2,000	26,800	23,300	52,200
H25	1,400	23,900	30,800	56,200

約2．5倍

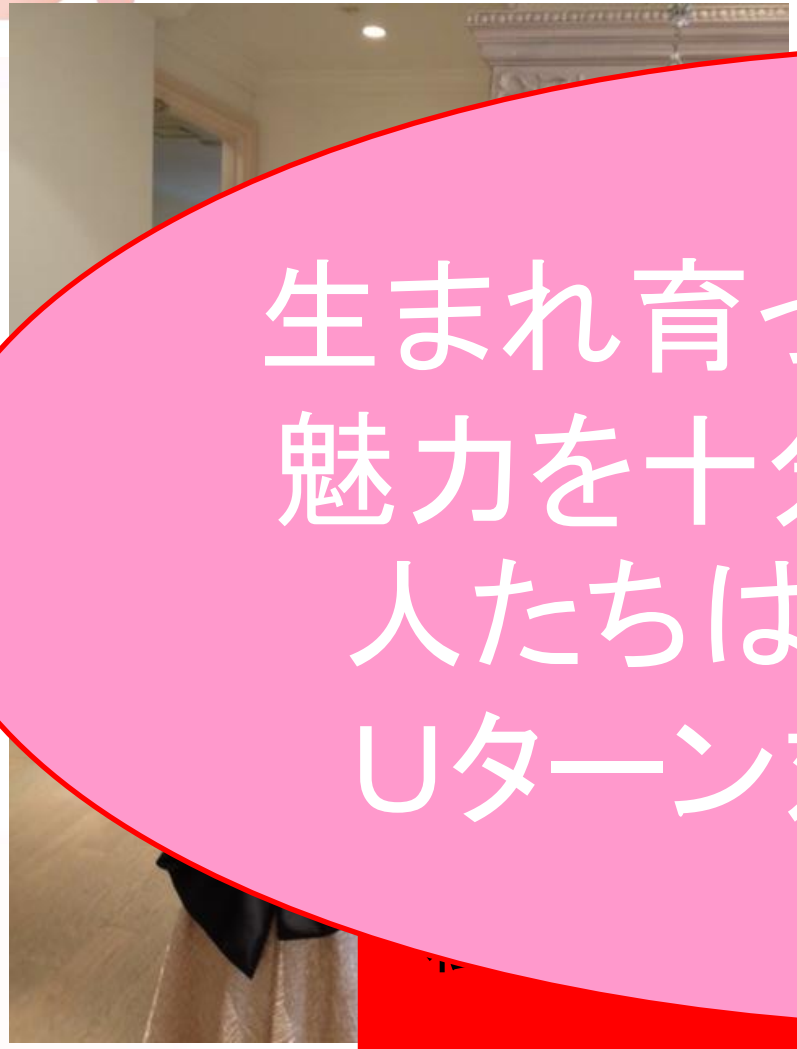
二次的住宅：別荘及びその他（たまに寝泊りする人がいる住宅）
賃貸用又は売却用の住宅：新築、中古を問わず、賃貸又は売却のために空き家になっている住宅
その他の住宅：上記の他に人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅

○ 東京在住者の今後の移住に関する意向調査結果（H26　内閣官房調査）

1．東京在住者の地方移住希望調査結果（2014年8月）



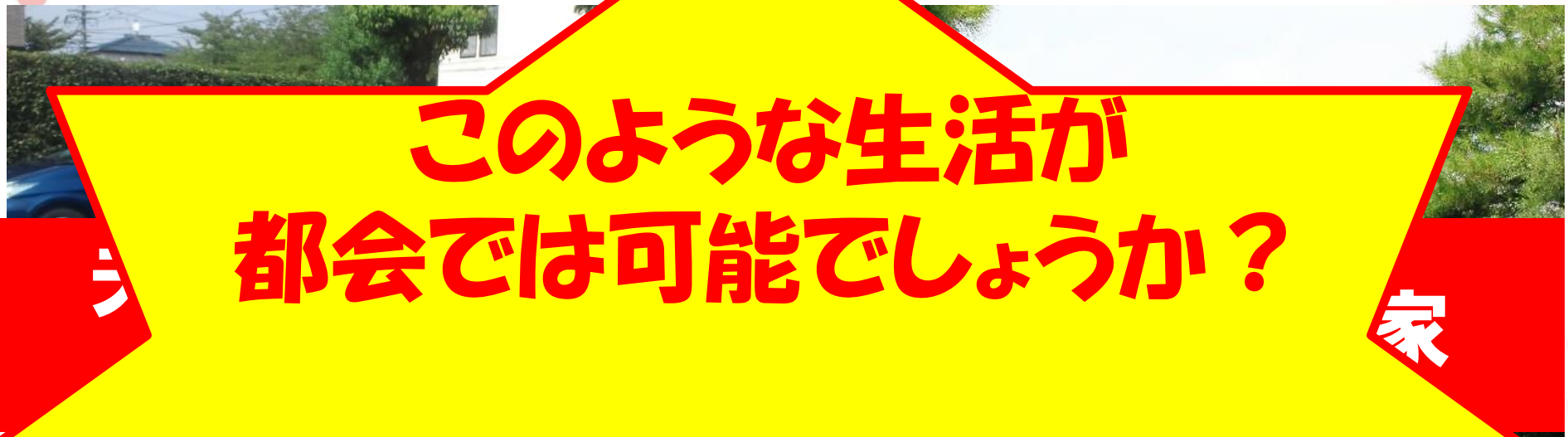
とある同窓会にて



生まれ育った故郷で富山の
魅力を十分に理解している
人たちは最も期待できる
Uターン対象者である！

私も６年前に東京からのUターン組です

同窓会開催のメリット



このような生活が
都会では可能でしょうか？

富山の事を知りたくても
とにかく情報が少ない！！

■都心 ない
■小中学校 高い、
学校の現 している

■自然が豊富　■食事が美味しい
■老後暮らしも故郷富山！

同窓会ホームページ作成事業

（例）富山県立富山中部高等学校同窓会ＷＥＢページ

・各学校の同窓会ホームページを作成
→同窓会や同期会情報などタイムリーに発信

初期投資のあるホームページ制作に補助を出す事業です

Facebook ↕ SNS

６月にオープン予定の首都圏情報発信拠点「日本橋とやま館」とのタイアップ（特典のあるＷＥＢページにする）

県外にいても富山の情報を分かるように情報発信をする！

同窓会開催補助事業

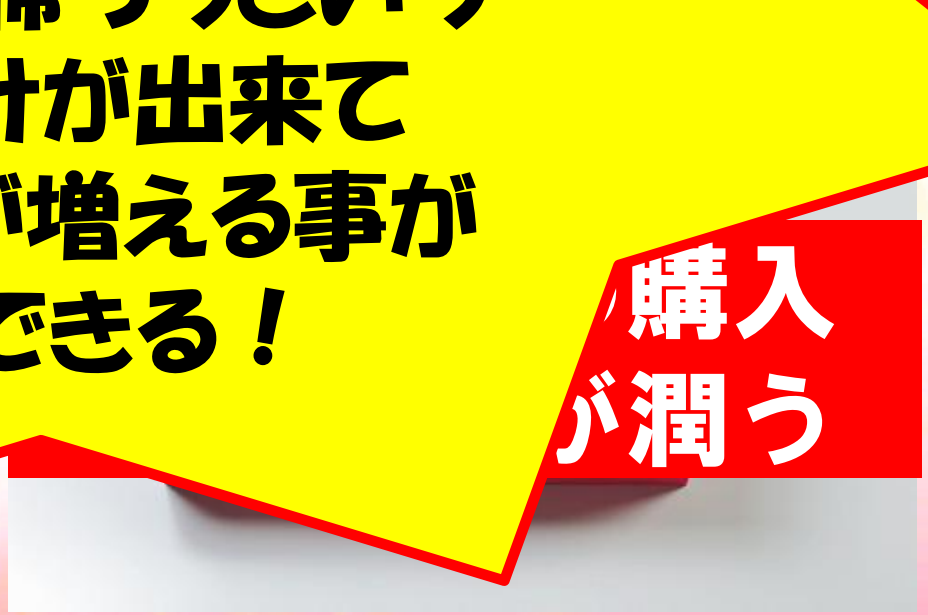
県内で同窓会を開催する際に、ホテルなどと協定を結ぶ
→各学年５年に１回は会場使用料の減免、もしくは補助制度を設ける事業

会場で移住やUターン支援策の紹介やふるさと納税のお願いをする

県内ホテルなどと協定を結ぶ

同窓会を開催することの相乗効果

新



県内の飲
潤う

購入
が潤う

相乗効果として富山県に
来る方が増える
＋
富山県に帰ろうという
動機づけが出来て
Uターンが増える事が
期待できる！

同窓会を開催することによって

Uターン者が増えれば
結果として家が空き家になることが少ない

介護においても在宅介護が可能になるケースも出てくる

人口が増えるという事は、企業の進出や商業活性化につながり、行政サービスや地域コミュニティの維持・向上のためにも必要不可欠である！

最後に

年代の節目によって富山に帰るタイミングがある

そのタイミングを逃さないように事業を行いたい

ご清聴ありがとうございました